

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑛会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus 2020年12月号 (Vol.183)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international

@kosei-kai.or.jp

発行者: 赤川惠一

編集チーフ: 長田健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

すべてお陰さま

開祖随感

今年も無事に一年を過ごさせていただいて思うのは、「この身に、どれほどのご守護を頂戴してきたことか」という感慨です。

「タンポポが一輪咲きました 根のお陰です 葉のお陰です」という、どなたかの詩の一節があります。とかく私たちは、タンポポの花にどれだけ気をとられて、その花が、根のお陰、葉のお陰で咲いていることに気づかずにいることが多いのですね。それと同じで、お互いさま、ご主人のお陰、奥さんのお陰、親のお陰、子どものお陰、まわりのみなさんのお陰を、ごくあたりまえのことのように思い、見過ごしてはいないでしょうか。この世の中でいちばん大事なものは、よほどの心の眼を見開いていないと見えてこないのです。

百七歳の天寿をまっとうされた清水寺貫主の大西良慶師は、「ありがとう言うて生きることが極楽やの」という言葉を残しておられます。

一年の終わりに、もう一度、まわりのお陰さまをかみしめたいものです。

(庭野日敬『開祖随感』9, P. 202-203)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる〜生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



会長法話

清々しい毎日をおくる

立正佼成会会長 庭野日鑛

「即ち是れ道場なり」

今年は、私たちのだれもが、これまでの生活スタイルを変えざるを得ない状況に見 舞われた一年でした。それは、もちろん新型コロナウイルスの影響によるものです。

みなさんのなかには、ウイルスに感染した方や、身近な人を亡くした方がいるかも しれません。そうした多くの人の身心の痛みが、この病気への不安とともに、一日も早 くなくなることを祈っているのは私だけではないでしょう。

ただ、生活スタイルがどう変わろうとも、忘れてはいけないことがあります。

「法華経の信仰に生きる人の生活の場は、どのようなところでも、そこが道場である」、 「法華経で修行とは、私たちの日常生活の最中である」(久保田正文師)といいます。

その意味でみなさんは、このコロナ禍にあって、仮に不安や恐れを感じるときでも、思いやりを忘れずに人とふれあってきたでしょうか。自粛警察という言葉も生まれましたが、自分とは違う意見の人の姿勢をも理解し、やさしく、柔軟に受けとめられたでしょうか。「即ち是れ道場なり」ですから、そういう日常の一つ一つが精進の機会なのです。

心がきれいになると

法華経の「法師功徳品」には、生きる姿勢や日々の言動をとおして法華経の教えを実践し、世に弘める人は、六根(眼、耳、鼻、舌、身、意)が清らかになるとあります。

「六根清浄」といえば、日本ではよく、この言葉を唱えながら山に登ります。空気も 景色もきれいな自然に包まれて山頂をめざすとき、だれもが身も心も洗われていく―― それは、山そのものが放つ霊妙な神気と、山をつかさどる神仏のはたらきをいただい て、五感が研ぎ澄まされ、自分本来の無垢な心をとり戻すということかもしれません。 しかし私たちは、登山をしなくても、清くおだやかな気持ちでものごとを受けとめ、毎 すがすが 日を清々しくすごす方法を知っています。その一つが、「即是道場」の実践でしょう。

人の、善いところが見えて悪いところを探す気持ちが起きない。なんでもおいしくいただける。読経供養が習慣となり、人に会うと思わず合掌してしまう。こういうことを無意識のうちに行なっているとすれば、きれいな心で円満な毎日をおくっているといえるのではないでしょうか。

私の恩師である坂本幸男先生は「われわれの日常生活がそのまま仏道修行であり、それが同時に仏作仏行、すなわち仏の衆生救済の活動である」と述べています。すると、私たちは日々の精進を重ねながら、同時にその実践によって救われているといえます。心にわだかまりのない、すっきりとした幸せをつねに味わっているということです。

「法華経を持つ者は 意根浄きこと斯の若くならん 未だ無漏を得ずと雖も *** たず是の如き相あらん 是の人此の経を持ち 稀有の地に安住して 一切衆生のかんぎ もいきょう することを為ん」(法華経の教えを持つ人は、心が清浄なためにさまざまなはたらきができて、たとえ迷いがすっかりなくなっていなくても、高い境地に心安らかにとどまり、多くの人に親しまれ、敬われることでしょう)

この「法師功徳品」の一節が、これまでお話ししてきたことをはからずも端的に示しています。しかも、ここで仏が語りかけている相手は「常精進菩薩」です。勝手な解釈をすれば、釈尊が私たちに「いつでも、どこでも、だれに対しても、思いやりとやさしさ、そして温かな気持ちを忘れない菩薩であれ」と励ましてくださっているようです。

年末になると、どこのご家庭でも大掃除をしますが、清々しい気持ちで新年を迎えるためには、私たち自身も心の煤払いが必要でしょう。この一年をふり返るとき、あなたの胸には、仏のどのような励ましの声が届くでしょうか。

(『佼成』2020年12月号)

Spiritual Journey

教えに学んだ「ありのまま」を 受け入れることの大切さ

ブラジル教会 ラファエル・ディエゴ・デ・セハン・モラレス

この体験説法は、2020年2月16日、ブラジル教会で行なわれた涅槃会の式典で発表されたものです。

皆さま、お願いします。

私は、ラファエル・ディエゴ・デ・セハン・モラレスと申 します。社会学の博士号を取得し、福祉プロジェクト のコーディネーターをしております。

私と立正佼成会の出会いは、2012年に友人が 私をブラジル教会に誘ってくれたことに始まります。そ の友人は今では佼成会の教えから離れてしまいまし たが、私は現在もブラジル教会に通わせていただい ています。

私はカトリック教徒の家庭に生まれ、13歳までカト リックの教会に通いました。しかし、私の気持ちの中に はカトリックの教えに十分に納得できない部分があ り、次第に教会から足が遠のいていきました。その後、 他の宗教について知る機会もありましたが、特に興味 は持てませんでした。しかし、仏教には常に関心が あったため、立正佼成会に出会うと、その教えに惹か れて入会しました。

私は、どちらかというと内気な性格で、自分につい て語るのは苦手です。他の人が私をどう思っている のか気になり、また、他人から批判されることを恐れ、 自分自身のことや人生について話すことは、あまり好 きではありません。実際、皆さんの前でこのようにお説 法をさせていただくのは、私にとって簡単なことではあ りません。しかし、このたび廣海さんからお説法のお役 をお声がけいただいたとき、私はあえて苦手なことに 挑戦することで、自分自身の課題を克服する良い機 会をいただけたのだと考え、ありがたくお受けすること にしました。

ブラジル教会の活動に参加するようになって最初 に感じたのは、立正佼成会では人の善いところだけ でなく、その人が持っているものすべてが尊重され、 受け入れられるということです。日々の生活には様々 な出来事があります。ときには自己中心的な人や偉 そうに振舞う人、あるいは相性の悪い人や厳しい言 葉を投げかけてくる人に出会うこともあります。しかし、



ブラジル教会で説法するモラレスさん

Spiritual Journey

ブラジル教会のサンガの皆さんは、どんな人も批判することなく、ありのままに受け入れようとされています。私は皆さんの温かさに惹かれ、サンガの一員になれたことにとても感謝しています。

サンガの皆さんから、物事をありのままに受け入れる姿勢を学ばせていただくうちに、私もその姿勢を日常生活で実践し、他人の言動を批判せず、相手の気持ちを理解できる人間になろうと思いました。もちろん、いつもそうした行動ができるわけではありません。今も自分にとって不都合に思える人がいると、つい批判してしまうことがあります。しかし、より善い人間になりたいという願いを忘れずに、常に教えの実践を心がけていきたいと思っています。

私は佼成会でこれまで多くのことを学ばせていただきました。今日は、そのなかの一つをお分けさせていただきます。

自宅からブラジル教会に通うとき、私はいつも自転車を使っています。自転車で走るのが好きだからです。 皆さんの中には、私が汗をかきながら自転車で教会に 到着するのを見かけた方もいらっしゃると思います。

2年前のある日曜日のことです。その日はちょうど私の誕生日でした。私は早朝に目を覚まし、考えました。「今日は私の誕生日だから、いつものように自転車で教会に行くのはやめて、ちょっといい服を着て、地下鉄で行こう。きっとみんなが誕生日をお祝いしてくれるはずだから、汗臭かったら申し訳ない」

そして、私はいつもより、い洋服に着替え、教会の ご供養に間に合うように家を出ました。ご供養が始ま る20分前に教会に到着してホールに向かうと、急い でいる様子の廣海さんの姿が目にとまりました。彼女 は私を見るなり、「おはようございます」と挨拶をし、 「ラファエルさん、ロビーの掃除をお願いできるかしら」と訊いてきました。私は「はい」と返事をし、すぐにバケツと雑巾とモップを手に取り掃除を始めました。しかし、掃除をするあいだ、胸の中は「今日は誕生日だからきれいな服で来たのに、なぜ掃除なんかしなくちゃいけないんだ」という思いでくすぶっていました。

ご供養が始まる少し前に掃除は終わりましたが、結局、その日が私の誕生日だと知っている会員さんは誰もいなかったらしく、期待していたお祝いの言葉をかけてくれる人はいませんでした。

自宅への帰路、私は一日を振り返り、自分の気持ちを深く見つめ直してみました。その日私は、誕生日を誰にもお祝いしてもらえず、がっかりしていました。しかし、よく考えると、結局それは私が自分のことしか考えていなかったからだということに気づいたのです。私は佼成会のサンガの皆さんから本当に多くの学びをいただいてきました。しかし、いつも人から与えられるだけで、人のためにわが身を使うことはありませんでした。そのことに気づくと、皆さんからいただくばかりだった私が、誕生日という特別な日に、ほんの少しでも恩返しのできる機会をいただけたことが、とても有り難く感じられました。ロビーの掃除のお役は、自分中心の心を離れ、人さまのことを考えられる自分になるために、仏さまがくださった最高の誕生日プレゼントだったのです。

佼成会で学ばせていただいたことは、仕事にも生かされています。昨年から今年にかけての1年間、私はベネズエラ避難民の受け入れキャンプがある北部のロライマ州に滞在し、彼らを支援する幾つかの社会プロジェクトの調整に取り組みました。ベネズエラでは、政治・社会情勢が悪化し、経済は事実上破綻状態に

LIVING THE LOTUS DECEMBER 2020 5

Spiritual Journey

あります。インフレがとてつもないレベルに達し、銀行預金や現金が紙くず同然になったことで、国民は生活用品をほとんど手に入れることができません。また、働きたくても仕事はなく、治安も悪化し、仕事を通して知り合いになったベネズエラ人によると、数百万人の人々が国外に避難しているそうです。私の仕事の一部は、同国から避難して来た人々のキャンプでの生活を支援することでした。

私の滞在期間中、避難民キャンプでは1000人 以上が生活しており、家族単位で小さなテントが割り 当てられていました。人々は緊張と不安の中で、将来 の展望を描けず、快適さとはほど遠い不自由な暮らし を強いられていました。物質面で支援できることには 限りがありましたが、キャンプで暮らす人々と接するう ちに、彼らが今一番必要としているのは、自分たちの 話を誰かに聞いてもらい、思いを分かち合ってもらうこ とだと感じるようになりました。それは、私たちの立場か ら言い換えれば、慈悲の心で彼らをありのままに認 め、受け入れる姿勢を持つことを意味します。私がそ のことに気づくことができたのは、ブラジル教会のサン ガの皆さんが、私の欠点を批判することなく、私という 人間をまるごと受け入れてくださったおかげです。今 度は私が、大変な苦しい思いをしてロライマに避難し て来られた人々に対し、彼らをまるごと受け入れる気 持ちで触れ合わせていただこうと思いました。

最後に、これからも物事をありのままに見て受け入れることの大切さを心に刻み、精進させていただくことをお誓い申し上げます。

み仏さま、開祖さま、ありがとうございました。 会長先生、ありがとうございました。 皆さま、ありがとうございました。



ブラジル教会のサンデーサービスに オンラインで参加するモラレスさん

法華三部経 各品のあらましと要点

庭野 日敬

妙法蓮華経 常不軽菩薩品第二十

仏性を拝むという一つの行だけで

人間の不幸のおおもとは、「肉体だけが自分である」と思い込んでいることです。この肉体へのとらわれがあるかぎり、何よりも自分の肉体を維持し、満足させることを第一に考え、ほかの人のことなど二の次になりますから、つい奪い合いや足の引っぱり合いなどの争いが起こり、従って不安・悩み・苦しみなどの絶えることがないのです。

ですから、人間を根底から救い、人類社会をほんとうに平和にするには、どうしてもこの根本のとらわれを打ち破り、「人間の本質は仏性である」という真実に目覚めさせなければならないのです。日常の心のもち方や行ないについて、悪いことをやめ善いことをするようにいちいちこまかく指導するのも、人間をよくする大事な方法ではありますけれども、ただそれだけではなかなか効果があがりません。ところが、人間の本質が〈仏性〉であるという真実に目覚めれば、ひとりでに悪いことなどできなくなります。みっともなくて、恥ずかしくて、できはしないのです。

また、ほかの多くの人びとについても、みんなが本仏に生かされ、仏性をもつ 存在であるという根本道理に目覚めるならば、お互いがきょうだいであるという実 感が湧きますから、ほんとうに仲よくすることができるわけです。

そこで、この品において、大昔に常不軽菩薩という人がいて、〈人の仏性を拝む〉というただ一つの行を続けることによって、自分も仏の悟りを得、多くの人をもその悟りへ導いた話が説かれるわけです。

その常不軽菩薩は、人さえ見れば、「わたしはあなたを軽んじません。あなたは必ず仏になれる人だからです」といって拝みました。〈仏になれる〉というのは、つまり〈仏性がある〉ということにほかならないのですが、一般の人びとはその意味が分かりませんので、「ばかにしている」と怒って、石を投げたり、棒をふりあげたりするのです。そうされると、常不軽菩薩は走って逃げはするのですが、遠くのほうから、相変わらずその人たちを拝んで、「あなたがたは仏になれる人たちです」と呼びかけるのでした。



法華三部経 各品のあらましと要点



そういうただ一つのことを根気よく行なったおかげで、常不軽菩薩は、寿命が 尽きてまさに死のうとする時、法華経の教えをしっかりと悟ることができ、そのため に不生不滅の仏性を自覚することができました。そして、なんどもこの世に生ま れ変わりながら、その真実の教えを説き続け、ついに仏の境地に立ち至ったの です。

このお話をなさった後、実はその常不軽菩薩というのはお釈迦さまの前世の身だったことをお明かしになります。つまりお釈迦さまも、人間すべてがもっている仏性をお悟りになり、その顕現に努力を積み重ねられたからこそ、仏の境地に達せられたのだ……というわけです。

教えを説くことも大切

その常不軽菩薩の行というのは、初めは単に〈人びとの仏性を拝む〉という行だけでしたが、人びとがようやく自分の仏性に気づくようになったら、今度はそのことを〈教え〉として説かれました。そのことを、われわれも見習わなければなりません。まず〈すべての人の仏性を認め、それを拝む〉ことから出発し、それから〈真実の教えである法華経を説いて、大衆の仏性を顕現する〉ことへと進まなければならないのです。そういう積極的な努力をしてこそ、自分も悟りを深めることができますし、世の中もほんとうによくなるのです。



粘り強い努力

その努力も、常不軽菩薩のように、いつも変わらぬ信念をもって、気長に、粘り強く行なわなければなりません。少しやってみて、思わしい結果があらわれないからといって、すぐあきらめてしまったり、現実の世界のあまりのひどさに失望してさじを投げてしまったりしたのでは、自分も、世の中も、ついに救われることはないでしょう。

人間の仏性は不生不滅なのですから、「なんども生き変わり死に変わりしながら、あくまでもこの偉大な仕事をし続けるのだ」という、不動の決意をもたなければならないのです。その点においても、常不軽菩薩は尊い手本であるといわなければなりません。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』 佼成出版社, 2016年 [初版 1991年], P. 188-192)





LIVING THE LOTUS DECEMBER 2020

Director's Column

新たな年に向かい、常精進菩薩たれ!

齋藤 高市

12月を迎えました。暦の上では一年の締めくくりの月であると同時に、立正佼成会では新しい年のスタートの時でもあります。

会長先生の今月のご法話では、「清々しい毎日をおくる」と題し、一年を 振り返ると共に、新たな年の心構えをご指導いただきました。

コロナ禍であっても、条件や環境に流されず「即是道場」の精神で、常に 思いやりの心でふれあうことが大切であると確認いただきました。

具体的には、いつでも、どこでも、だれに対しても思いやりの気持ちを忘れずに菩薩行に励むことであると、お示しいただきました。

私事ですが、この度、東京西支教区長兼大田教会長を拝命し、国際伝 道部長のお役を離れることになりました。

新たな旅立ちの時を迎え、私も常に思いやりの心を忘れず、目の前の人に喜びを与えられるふれあいを心がけ、精進させていただきます。

今後は、赤川惠一新部長さんと共に、より活発に国際伝道が展開されますことを祈念させていただきます。皆さま方には三年間お世話になり、誠に有り難うございました。深謝合掌。



赤川部長(左)、齋藤教会長(右)

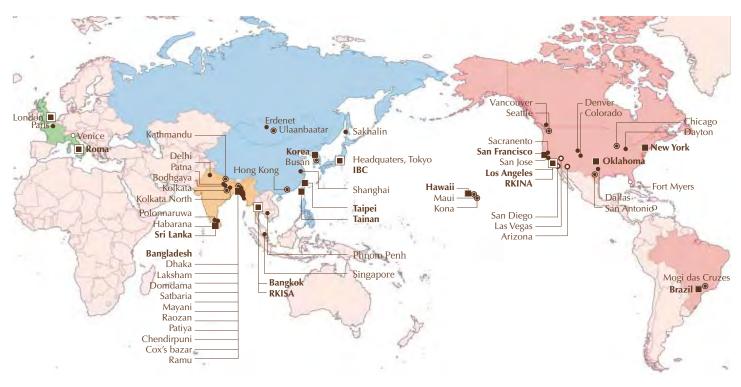
Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。 お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp



Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement





Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633

Email: sangha@rkhawaii.org URL: http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA TEL:: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA POBox 33636, CA 90033, USA

TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567

Email: rk-la@sbcglobal.net URL: http://www.rkina.org/losangeles.html

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA

TEL: 1-650-359-6951 Email: info@rksf.org URL: http://www.rksf.org

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA

TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: http://rk-ny.org

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA TEL: 1-773-842-5654

Email: murakami4838@aol.com URL: http://rkchi.org

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: http://www.rkftmyersbuddhism.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303

Email: rkokdc@gmail.com URL: http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA URL: http://www.rkina-dayton.com

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA

TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567 Email: dharmasa@rksabuddhistcenter.org URL: http://rksabuddhistcenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745 Email: dharmasanantonio@gmail.com
URL: http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
URL: http://buddhistlearningcenter.org

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Risho Kossei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377

Email: risho@rkk.org.br URL: http://www.rkk.org.br

Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓国立正佼成会

〒 04420 大韓民国 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3 6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓国立正佼成会釜山支部

〒 48460 大韓民国釜山廣域市南區水營路 174, 3F 3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會

台湾台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大厦 4 樓 4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會

台湾台南市崇明 23 街 45 號

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488

Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Please contact Rissho Kosei-kai of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar, New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo, Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

Rissho Kosei-kai Ramu Rissho Kosei-kai Aburkhiln

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia

TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

Rissho Kosei-kai of Paris Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK

TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org Facebook: https://www.facebook.com/RKUnitedKingdom

Twitter: https://twitter.com/rkuk_official

Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org